

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類		基礎点検
事務事業名	救急活動事業(症例検討会講師謝礼金)		シート番号	C 内部管理事業
担当部署名	消防	局	救急	部 救急ワークステーション 課 評価責任者(課長名)
				90-25
				服部

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	市民の命を守る健康・医療体制の強化	無
	2	事業開始年度	平成 14 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	消防組織法・救急救命士法			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	(症例検討会講師謝礼金) 大阪府が示す「救急救命士に対する再教育ガイドライン」及び「救急業務に携わる消防職員の生涯教育ガイドライン」により、資格取得後の救急救命士が、学術集会、症例検討会や集中講義などの各種教育プログラムを通して病院前救護に必要な医学的な知識と技能の維持に努め、医療職種の一員として資質の向上を図るため、履修しなければならない教育項目と教育時間数(救急救命士は2年間で128単位以上、救急業務に携わる消防職員は年間50単位以上)が定められている。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	(症例検討会講師謝礼金) 症例検討会、集中講義において講師を務めた医師等			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	(症例検討会講師謝礼金) 救急現場で求められる医学的知識と高度な技術を習得し、救急隊員の質を維持向上させるため。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	(症例検討会講師謝礼金) 症例検討会、集中講義において講師を務めた医師等に対して謝礼金を支払うもの。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他()				

Ⅲ. 投入量

項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11	事業費 (a)	千円	505	448	368	598
	主な事業費内訳	症例検討会講師謝礼金	千円	505	448	368	598
			千円				
			千円				
			千円				
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円				
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他()	千円				
	12	人件費 (b)	千円	4,100	4,100	4,100	4,050
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	4,605	4,548	4,468	4,648	